

科目名称：	レクリエーション活動Ⅱ	
担当者名：	松下 高信	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
レクリエーションの理論および技術は、円滑な交流の場を提供する力を持っている。レクリエーションの本質を学び、現場で必要な能力である実践力・応用力を高めていく。8種類の屋内外のレクリエーションを取り入れ、自学自習の学習態度を学ぶ。		
授業の達成目標・到達目標		
1. レクリエーション技術を高め、現場で応用する。 2. 自ら活動することにより、レクリエーションの本質に少しでも近づく。 3. プレゼンテーションを通して、それぞれの専攻にマッチしたレクリエーションを提案する。 4. リーダーシップ、フォロアーシップを学び、協調性を養う。 5. 健康、安全に配慮した行動を身につける。		

留學生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)					0
全学DP(3)				100	100
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 レクリエーションインストラクター	《経験年数1》 12年
	《内容2》 石川県レクリエーション協会公認1級指導員	《経験年数2》 12年
	《内容3》 障害者スポーツ指導員	《経験年数3》 10年
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
レクリエーション技術と現場での応用	レクリエーション活動に関する計画・諸準備・援助法・評価法を完全に理解している。	レクリエーション活動に関する計画・諸準備・援助法・評価法を理解している。	レクリエーション活動に関する計画・諸準備・援助法・評価法をおおむね理解している。	レクリエーション活動に関する計画・諸準備・援助法・評価法を理解していない。
レクリエーションの本質	レクリエーションの社会的意義を理解し、自ら活動することができる。	レクリエーションの社会的意義をおおむね理解し、自ら活動することができる。	レクリエーションの社会的意義を理解し、まわりと協働で活動することができる。	レクリエーションの社会的意義を理解していない。
リーダーシップとフォロワーシップ	協調性があり、リーダーとして、フォロワーとしてどちらも完全に行動できる。	協調性があり、リーダーとして、フォロワーとしてどちらも行動できる。	協調性があり、リーダーとして、フォロワーとして、どちらかの立場で行動できる。	協調性がない。
健康、安全に配慮した行動	健康、安全に配慮したレクリエーションの活動実践ができる。	健康、安全に配慮したレクリエーションの活動実践がおおむねできる。	健康、安全に配慮したレクリエーションについて理解している。	健康、安全に配慮したレクリエーションができない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス	シラバスで概要を把握	45分
第2回 屋内レクリエーション (ティーボール)	ティーボールの基礎的知識	45分
第3回 屋外レクリエーション (グラウンドゴルフ)	グラウンドゴルフの基礎的知識	45分
第4回 屋外レクリエーション (ポールウォーキング)	ポールウォーキングの基礎的知識	45分
第5回 屋内レクリエーション (スラックライン)	スラックラインの基礎的知識	45分
第6回 屋内レクリエーション (モルック)	モルックの基礎的知識	45分
第7回 屋内レクリエーション (ボッチャ)	ボッチャの基礎的知識	45分
第8回 屋内レクリエーション (フラッグフットボール)	フラッグフットボールの基礎的知識	45分
第9回 屋内レクリエーション (フロアホッケー)	フロアホッケーの基礎的知識	45分
第10回 プレゼンテーション (グループA)	プレゼンテーションの準備	90分
第11回 プレゼンテーション (グループB)	プレゼンテーションの準備	90分
第12回 プレゼンテーション (グループC)	プレゼンテーションの準備	90分
第13回 プレゼンテーション (グループD)	プレゼンテーションの準備	90分
第14回 プレゼンテーション (グループE)	プレゼンテーションの準備	90分
第15回 プレゼンテーションのまとめ	プレゼンテーションのまとめの準備	90分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、各種レクリエーションの基礎的知識を深めておくこと。プレゼンテーションは各グループで入念に構想を練ること。</p>		
<b>成績評価の方法・基準</b> <p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>授業への積極的関与(40%)、コミュニケーション能力(30%)、プレゼンテーション(30%)を100点満点の減点法で評価する。第1回授業にて詳細を説明する。</p>		
<b>課題に対するフィードバック</b> <p>当該授業中に講評、解説する。</p>		
<b>教科書・参考書</b> <p>教科書は指定しない。授業時にプリントを配付する。</p>		